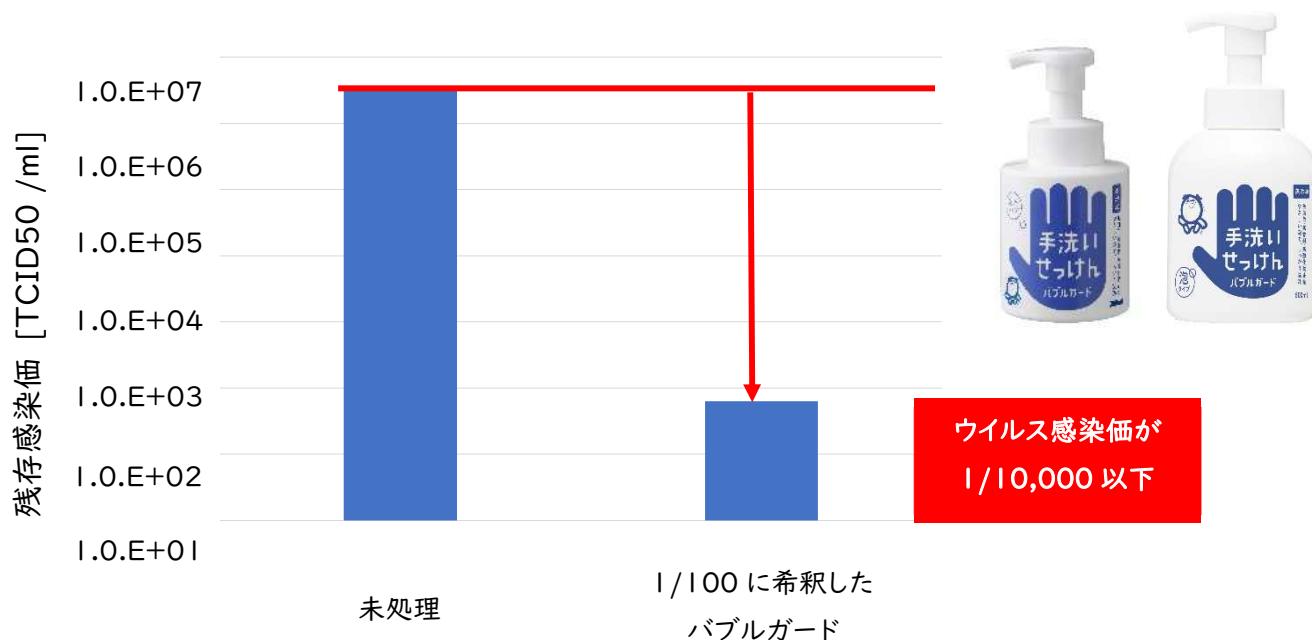


2020年10月19日

—新型コロナウイルスに対する抗ウイルス効果の研究結果—
**無添加石けん「手洗いせっけんバブルガード」が
新型コロナウイルスを99.99%以上不活化させることを実証**

感染症対策研究センター（福岡県北九州市/センター長：松本哲朗）は、新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）に対する石けんの抗ウイルス効果について研究いたしました。感染症対策研究センターは、ハンドソープを中核とする衛生管理の提案および普及を目指し、産学で共同研究を行っています。本研究は基礎研究グループ・抗微生物評価のプロジェク
トリーダーである坂口剛正教授のチームが行い、その結果、無添加石けん「手洗いせっけんバブルガード」が新型コロナ
ウイルスを99.99%以上不活化させることが分かりました。

**【試験概要】**

新型コロナウイルス（ウイルス株：Japan/AI/I-004/2020）とオレイン酸カリウム水溶液を1：9で3分間反応させ、TCID₅₀法¹⁾で感染価を求めました。独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）は、2020年6月26日に脂肪酸カリウム・脂肪酸ナトリウムに新型コロナウイルスに対する抗ウイルス効果を有することを発表しました²⁾。本実験結果は、NITEの報告内容と同じ傾向を示したと考えられます。

※本研究は、広島大学大学院医系科学研究科ウイルス学研究室坂口剛正先生との共同研究の結果です。

※新型コロナウイルスは、国立感染症研究所から分与されたウイルス（Japan/AI/I-004/2020株）です。

1) TCID₅₀法とは、ウイルス感染価を確認する際に用いられる測定方法の1つ。あらかじめ細胞を培養して付着させた試験管やウェルプレート上にウイルス希釈液を接種し、50%の細胞に対して感染する濃度のこと

2) 新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価（最終報告）令和2年6月新型コロナウイルスに対する代替消毒方法の有効性評価に関する検討委員会



松本 哲朗センター長

多くの感染症の予防に手洗いが有効であることが知られています。現在流行中の新型コロナウイルス感染症にも、マスクの着用と手洗いが有効です。流水による手洗いでも有効ですが、石鹸と流水による手洗いはさらに有効です。石鹸の中で、バブルガードは新型コロナウイルスにも有効であることが分かり、推奨される手洗い用の石鹸であることを知ることができました。



基礎研究グループ・抗微生物評価のプロジェクトリーダー

坂口 剛正 教授

バブルガードには、インフルエンザウイルスなどの多くの病原ウイルスを不活化する活性があることを研究してきました。その主成分のオレイン酸カリウムは、市販のハンドソープの合成界面活性剤よりも強い抗ウイルス活性があることもわかってきました。今回の試験で、バブルガードは、低濃度（1/100）で新型コロナウイルス SARS-CoV-2をほぼ完全に不活化しました。安心して使用できるハンドソープであると考えられます。

感染症対策研究センターとは

「病原微生物と石けんとの関係の基礎的研究と感染制御の普及・発展を目指し、もって社会に貢献する」ことを理念とし、2009年12月に設立。産学共同研究により、各種細菌やウイルスに対する抗菌効果や抗ウイルス効果の研究などを行い、「ハンドソープを中核とする衛生管理」の提案および普及を目指す。

組織概要

■センター長

松本 哲朗（産業医科大学名誉教授、NPO 法人 KRICT 理事長）

【研究部門】

応用研究グループ

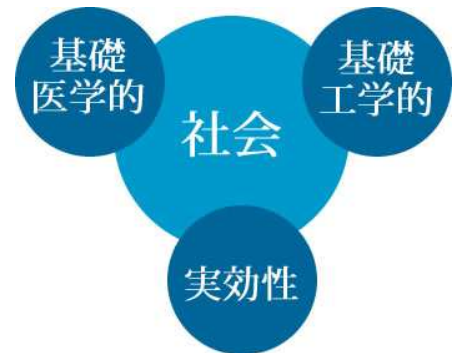
■感染制御応用 松本 哲朗（産業医科大学名誉教授、NPO 法人 KRICT 理事長）

■安全性研究 渡邊 幸夫（明星大学 専任講師）

基礎研究グループ

■抗微生物評価 坂口 剛正（広島大学 教授）

■感染機構解析 秋葉 勇（北九州市立大学 教授）



感染症対策研究センターHP

<http://kansen-center.com/>

【報道関係者からの問い合わせ先】

感染症対策研究センター広報事務局

TEL: 03-3263-5638 FAX: 03-3263-5623 担当: 山元/木村

E-mail: s_kimura@prk.co.jp